

町会活動に関するアンケート (婦人部・女性部等対象)

<概要版>

(1) アンケートの目的

本調査は、町会の抱える課題や地域の特性等を把握し、今後の持続可能な運営を支援する具体的な施策を検討することを目的とする。

(2) 調査の対象

町会婦人部・女性部 (107 町会)

(3) 調査期間

令和7年7月29日～令和7年9月8日

(4) 回収結果

対象数	有効回収数	有効回収率
107	88	82.2%

目次

1	地区ごとの回答数について	[p. 1]
2	婦人部長・女性部長等の年代について	
3	婦人部長・女性部長等の職業について	[p. 2]
4	婦人部・女性部の活動人数について	
5	活動者の年齢構成について	[p. 3]
6	婦人部・女性部等加入のきっかけについて	
7	婦人部・女性部等内の情報共有手段について	[p. 4]
8	婦人部・女性部等の運営上の困りごとについて	
9	婦人部・女性部等の運営・活動の工夫について	[p. 5]
10	町会運営や活動でデジタル化したいものについて	
11	婦人部・女性部等の活動の今後の在り方について	
12	特に力を入れている地域活動・課題の大きい地域活動について	[p. 7]
13	イベント活動の課題について	[p. 8]
14	特に重要な地域課題について	[p. 9]
15	町会の役割・存在意義について	
16	これからの町会について	[p. 10]
17	祭礼文化継承の課題について	
18	祭礼参加の充実感・負担感について	[p. 11]
19	行政からの依頼の負担感について	
20	行政からの依頼で負担感の大きいものについて	[p. 12]
21	町会加入促進について行政がすべき支援や協力について	
22	町会活動や運営に対して行政がすべき支援や協力について	[p. 13]

アンケート結果

1 地区ごとの回答数について

107 町会のうち、88 町会から回答があり、回答率は 82.2%となっている。うち、「婦人部・女性部等またはこれらに準ずる部や委員会はない」という回答は9件であった。

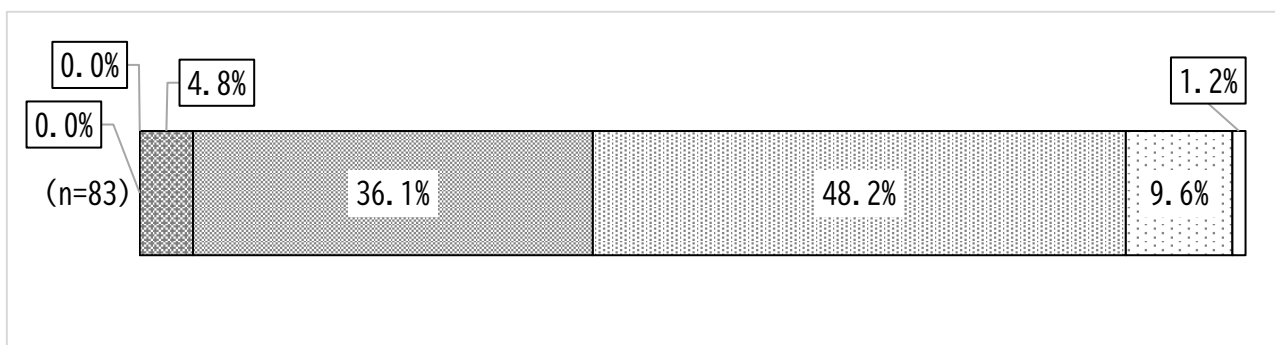
	町会数	回答数	回答率
麴町出張所地区	21	19	90.5%
富士見地区	8	8	100.0%
神保町地区	12	10	83.3%
神田公園地区	20	18	90.0%
万世橋地区	21	15	71.4%
神田駅東地区	9	4	44.4%
岩本町東神田地区	8	6	75.0%
秋葉原東部地区	8	8	100.0%
総計	107	88	82.2%

2 婦人部長・女性部長等の年代について（問3）

「70歳代」（48.2%）が最も高く、次いで「60歳代」（36.1%）、「80歳代」（9.6%）と続いている。また、「39歳以下」（0.0%）、「40歳代」（0.0%）の回答はなかった。

●婦人部長・女性部長等の年代について教えてください。（○は1つ）

39歳以下	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

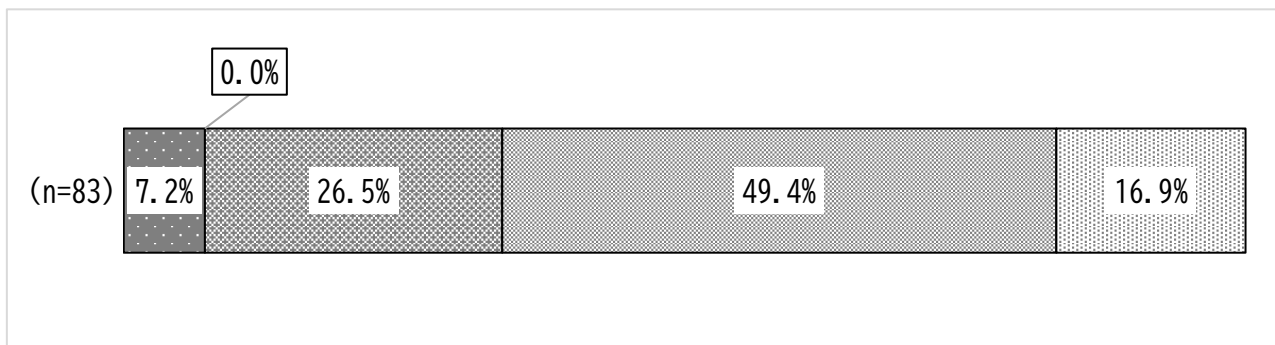


3 婦人部長・女性部長等の職業について（問4）

「無職」(49.4%)が最も高く、次いで「自営」(26.5%)、「その他」(16.9%)となっている。

●婦人部長・女性部長等の現在の職業を教えてください。(○は1つ)

会社員・ 団体職員	公務員	自営	無職	その他
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

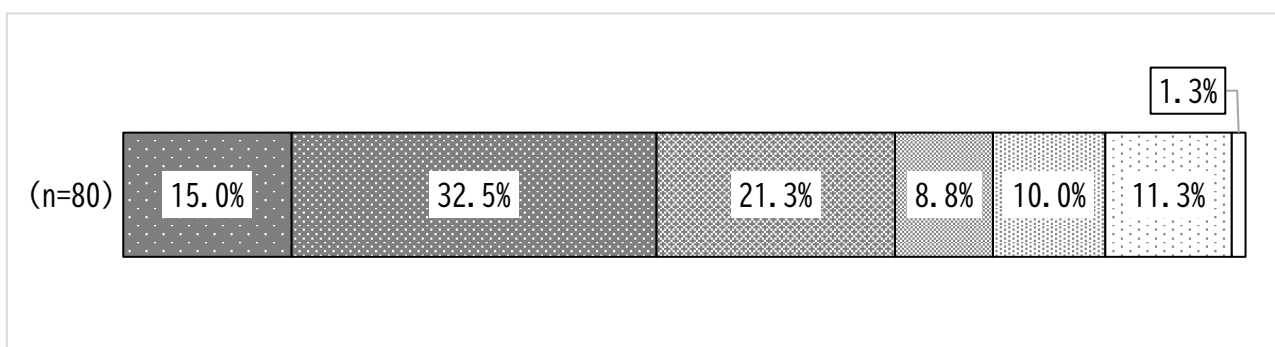


4 婦人部・女性部等の活動人数について（問6）

「6～10人」(32.5%)が最も高く、次いで「11～15人」(21.3%)、「1～5人」(15.0%)、「26～30人」(11.3%)と続いている。

●婦人部・女性部等で活動する人はおおよそ何人ですか。(自由記述)

1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21～25人	26～30人	31人以上
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

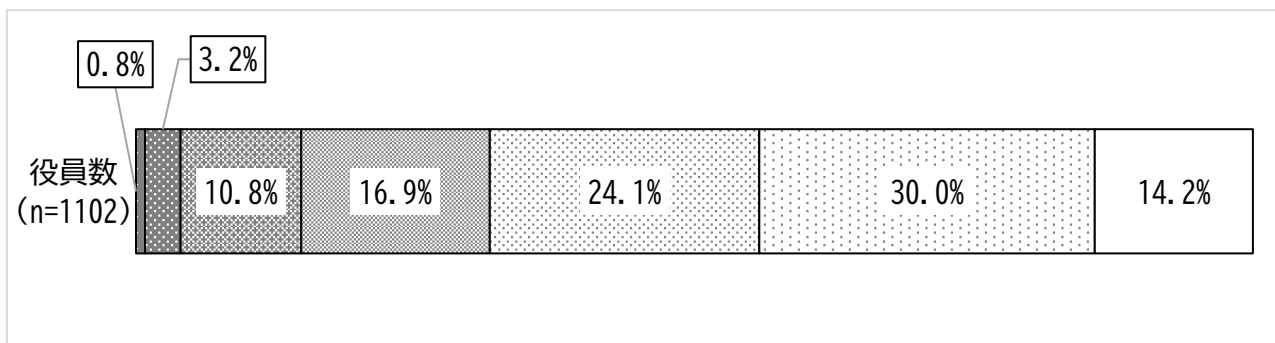


5 活動者の年齢構成について（問7）

「70歳代」（30.0%）が最も高く、次いで「60歳代」（24.1%）、「50歳代」（16.9%）、「80歳以上」（14.2%）、「40歳代」（10.8%）と続いている。

●活動者の年齢のおおよその人数を教えてください。（自由記述）

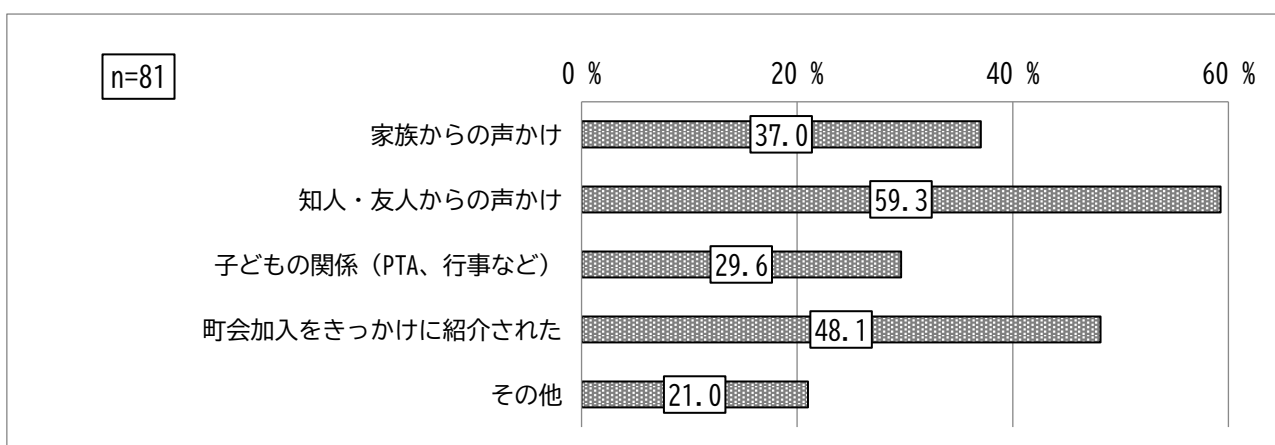
20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上



6 婦人部・女性部等加入のきっかけについて（問9）

「知人・友人からの声かけ」（59.3%）が約6割と最も高く、次いで「町会加入をきっかけに紹介された」（48.1%）、「家族からの声かけ」（37.0%）、「子どもの関係（PTA、行事など）」（29.6%）、「その他」（21.0%）と続いている。

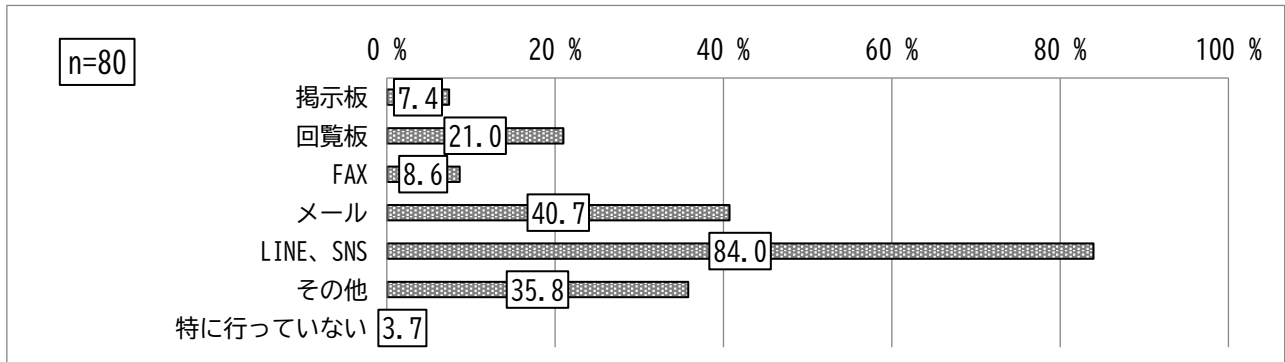
●現在、婦人部・女性部等に参加している人が、部に参加（参加）するきっかけとなったものとして多いものはどれですか。上位3つまでお選びください。（○は3つまで）



7 婦人部・女性部等内の情報共有手段について（問 10）

「LINE、SNS」（84.0%）が8割台半ば近くと最も高く、次いで「メール」（40.7%）、「その他」（35.8%）、「回覧板」（21.0%）、「FAX」（8.6%）と続いている。

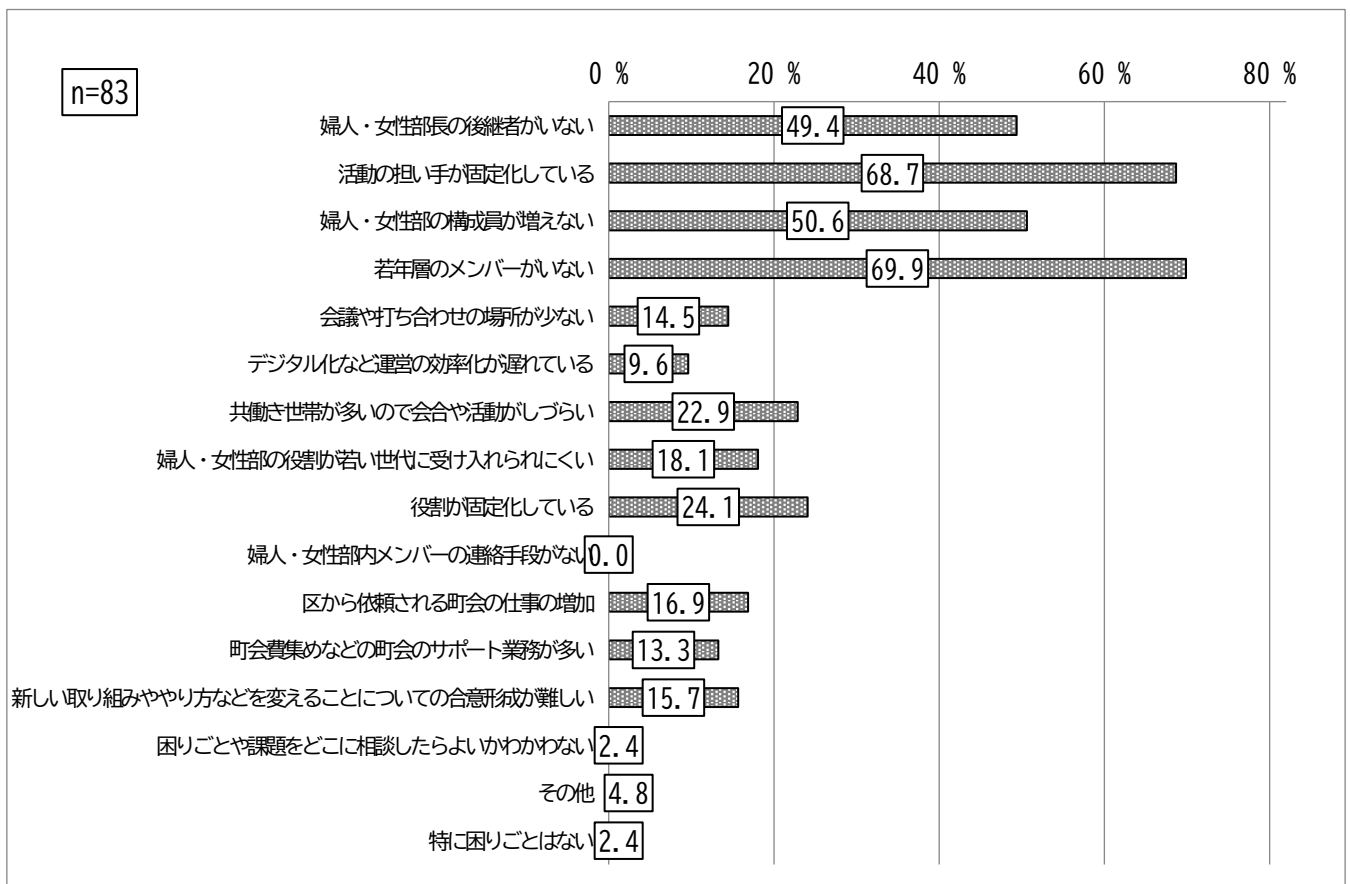
●婦人部・女性部等のメンバーへのお知らせや情報共有はどのように行っていますか。（○はいくつでも）



8 婦人部・女性部等の運営上の困りごとについて（問 11）

「若年層のメンバーがいない」（69.9%）が約7割と最も高く、次いで「活動の担い手が固定化している」（68.7%）、「婦人部・女性部等の構成員が増えない」（50.6%）、「婦人部長・女性部長等の後継者がいない」（49.4%）と続いている。

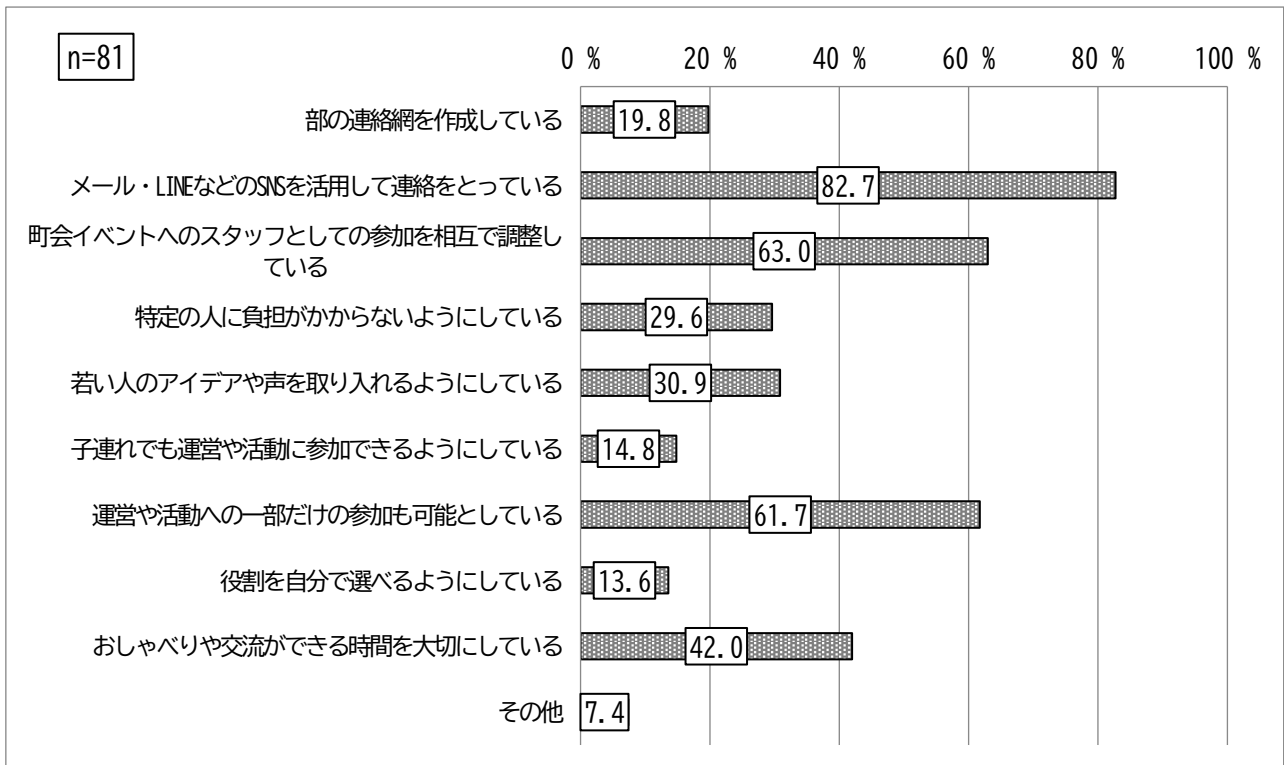
●婦人部・女性部等の運営上のお困りごとはありますか。（○はいくつでも）



9 婦人部・女性部等の運営・活動の工夫について（問12）

「メール・LINEなどのSNSを活用して連絡をとっている」（82.7%）が8割超えと最も高く、次いで「町会イベントへのスタッフとしての参加を相互で調整している」（63.0%）、「運営や活動への一部だけの参加も可能としている」（61.7%）となっている。

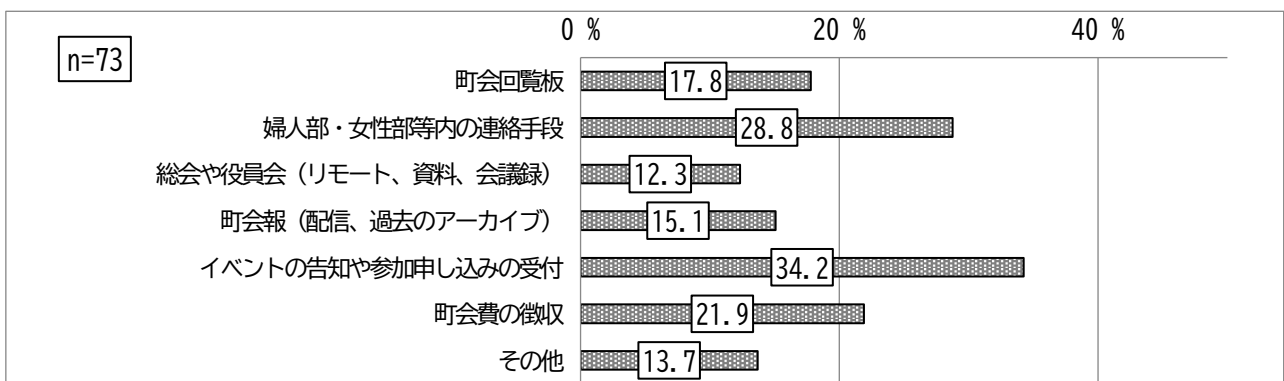
●婦人部・女性部等の運営や活動の中で工夫していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）



10 町会運営や活動でデジタル化したいものについて（問13）

「イベントの告知や参加申し込みの受付」（34.2%）が3割強と最も高く、次いで「婦人部・女性部等内の連絡手段」（28.8%）、「町会費の徴収」（21.9%）、「町会回覧板」（17.8%）、「町会報（配信、過去のアーカイブ）」（15.1%）と続いている。

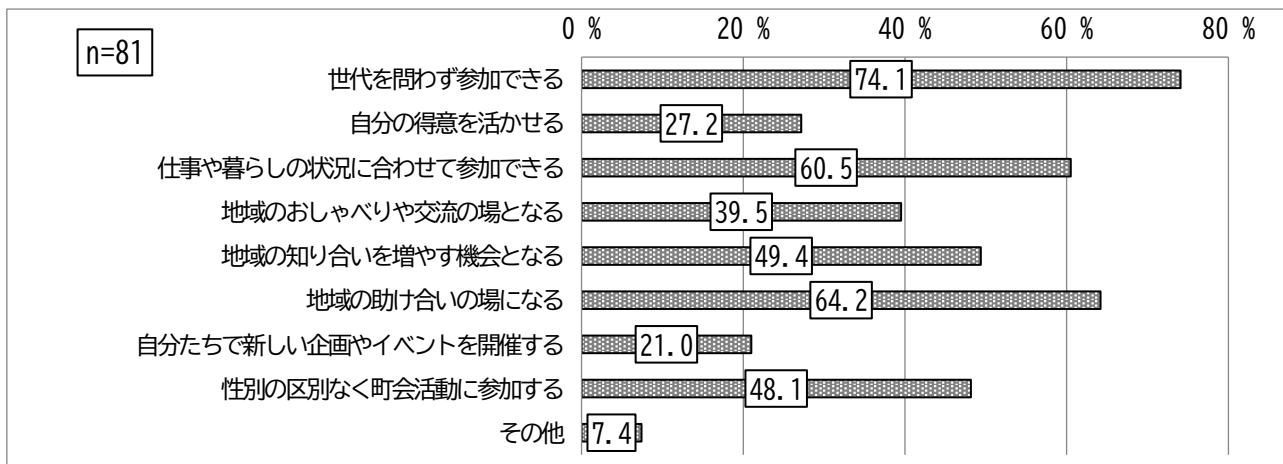
●町会運営や活動においてデジタル化したいものはありますか。（○はいくつでも）



11 婦人部・女性部等の活動の今後の在り方について（問 14）

「世代を問わず参加できる」（74.1%）7割台半ば近くと最も高く、次いで「地域の助け合いの場となる」（64.2%）、「仕事や暮らしの状況に合わせて参加できる」（60.5%）、「地域の知り合いを増やす機会となる」（49.4%）、「性別の区別なく町会活動に参加する」（48.1%）と続いている。

●婦人部・女性部等の活動が、今後どのようになればよいと思いますか。（○はいくつでも）

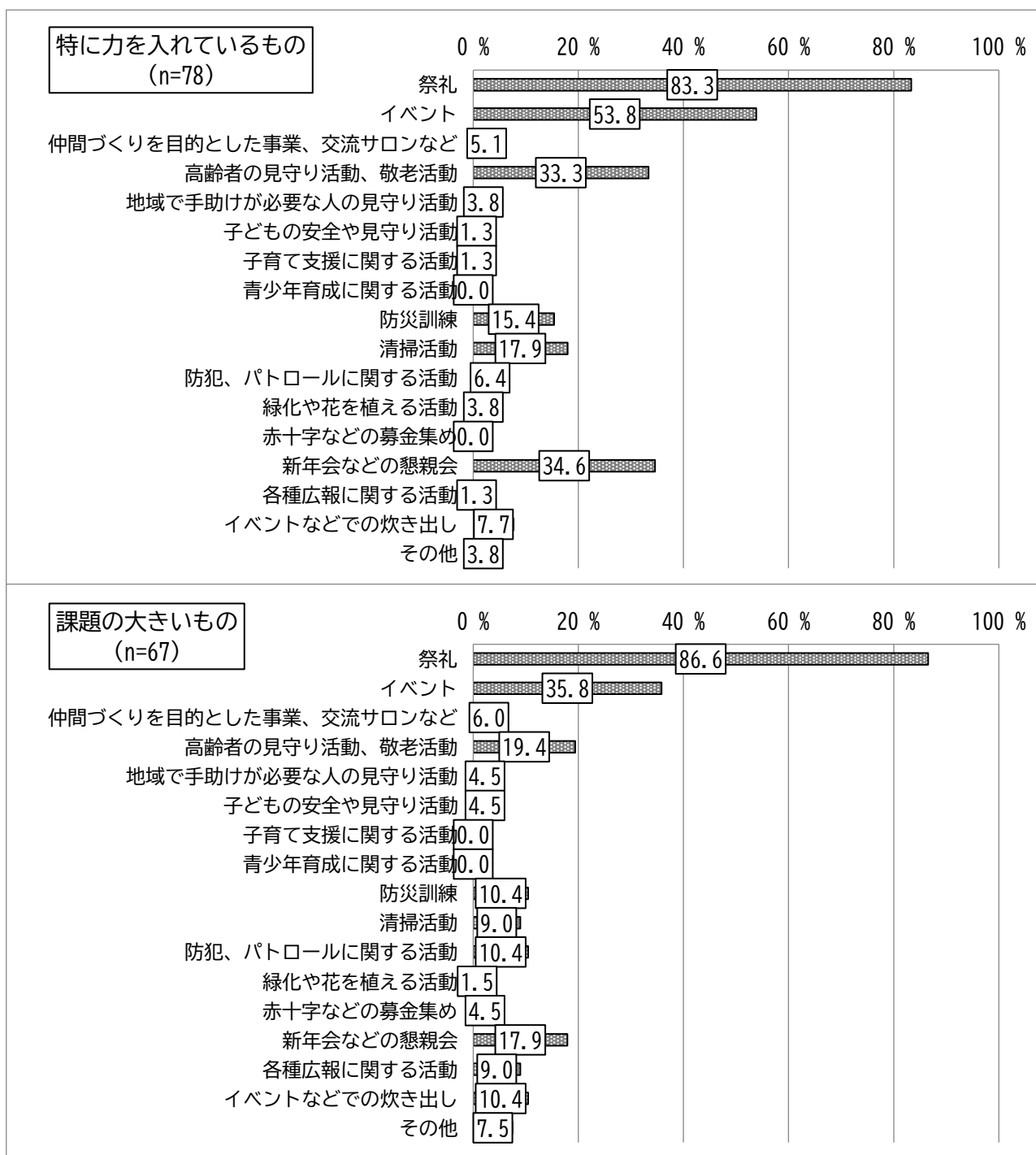


12 特に力を入れている地域活動・課題の大きい地域活動について（問 15）

『特に力を入れているもの』は、「祭礼」（83.3%）が8割超えで最も高く、次いで「イベント」（53.8%）「新年会などの懇親会」（34.6%）、「高齢者の見守り活動、敬老活動」（33.3%）と続いている。

『課題の大きいもの』は、「祭礼」（86.6%）が8割台半ば超えと最も高く、次いで「イベント」（35.8%）となっている。

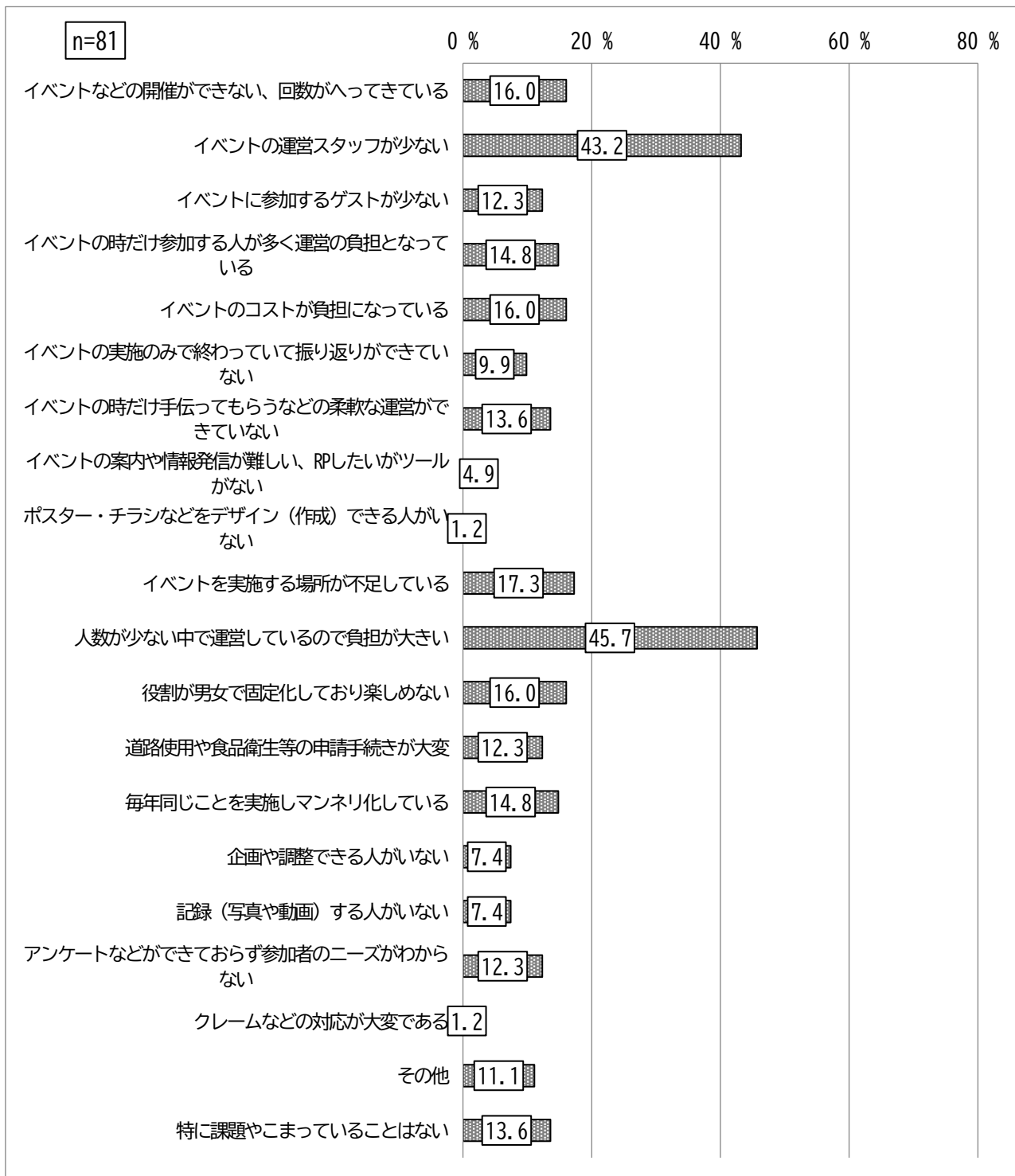
●次の各項目の活動について、「特に力を入れているもの」と「課題の大きいもの」をそれぞれ3つ選び○をつけてください。



13 イベント活動の課題について（問 19）

「人数が少ない中で運営しているので負担が大きい」（45.7%）が5割台半ば近くと最も高く、次いで「イベントの運営スタッフが少ない」（43.2%）となっている。

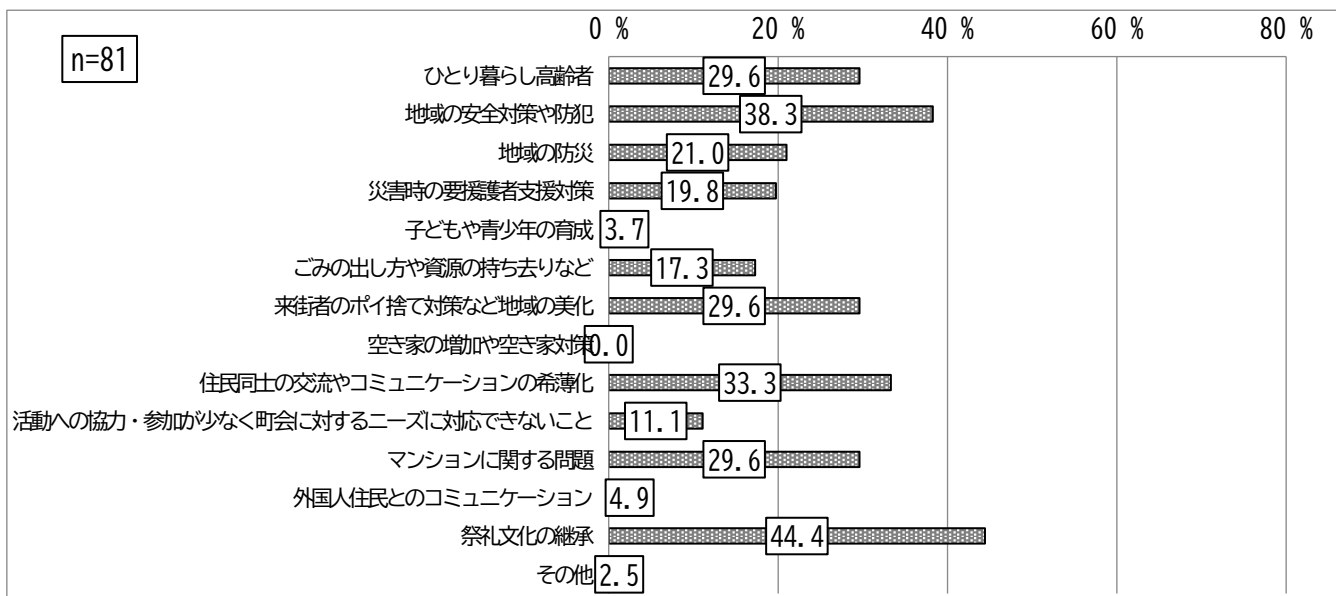
●町会のイベントや活動などの実施について、課題やお困りごとはありますか。（○はいいくつでも）



14 特に重要な地域課題について（問 20）

「祭礼文化の継承」(44.4%) が4割台半ば近くと最も高く、次いで「地域の安全対策や防犯」(38.3%)、「住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化」(33.3%)、「一人暮らし高齢者」(29.6%)、「来街者のポイ捨て対策など地域の美化」(29.6%)、「マンションに関する問題」(29.6%)と続いている。

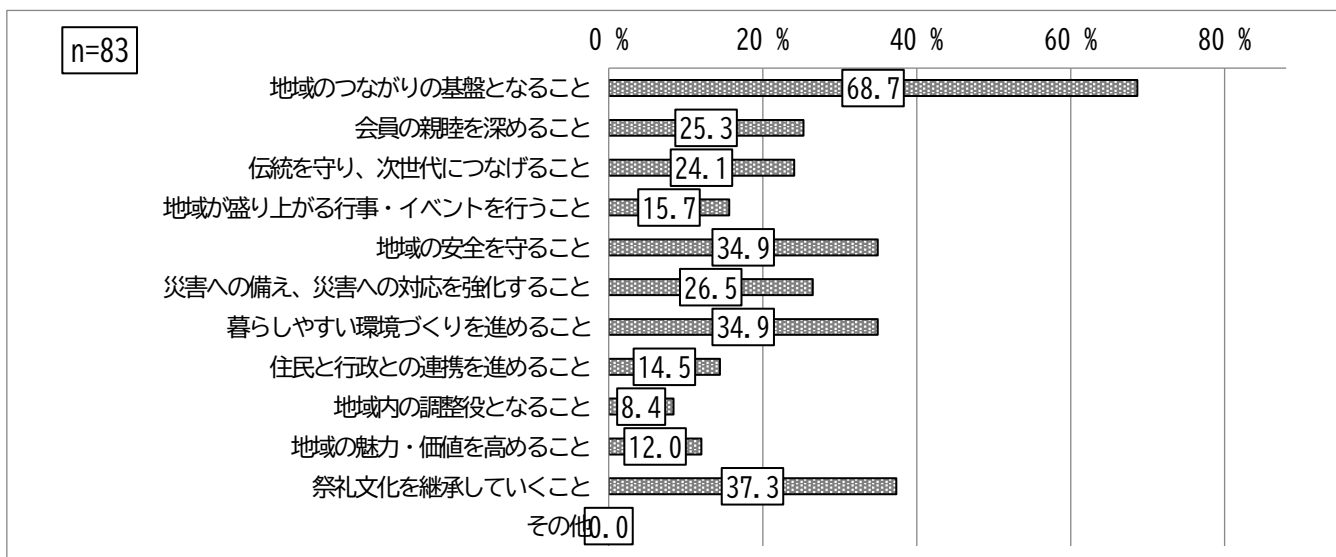
●現在、町会において、あなたが考える、特に重要な地域課題はどのようなことですか。（○は3つまで）



15 町会の役割・存在意義について（問 21）

「地域のつながりの基盤となること」(68.7%) が6割台半ば近くと最も高く、次いで「祭礼文化を継承していくこと」(37.3%)、「地域の安全を守ること」(34.9%)、「暮らしやすい環境づくりを進めること」(34.9%)と続いている。

●町会の役割、存在意義として大切なことは何だとお考えですか。（○は3つまで）

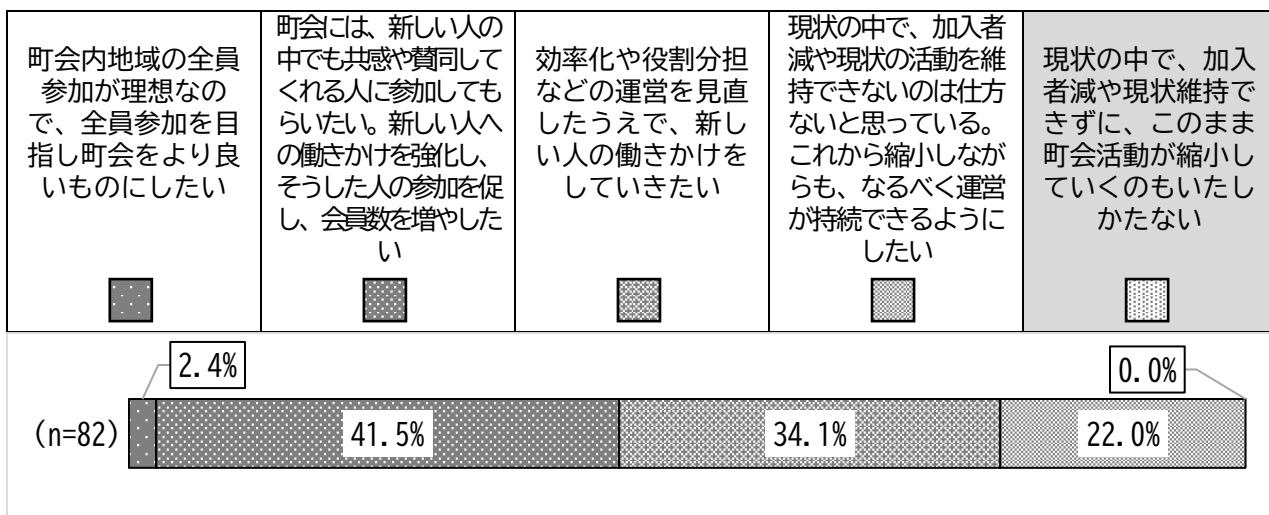


16 これからの町会について（問 22）

「新たな人でも共感・賛同してくれる人への働きかけを強化し会員数を増やしたい」

(41.5%) が4割超えと最も高く、次いで「効率化や役割分担など運営を見直し、新しい人に働きかけたい」(34.1%) となっている。

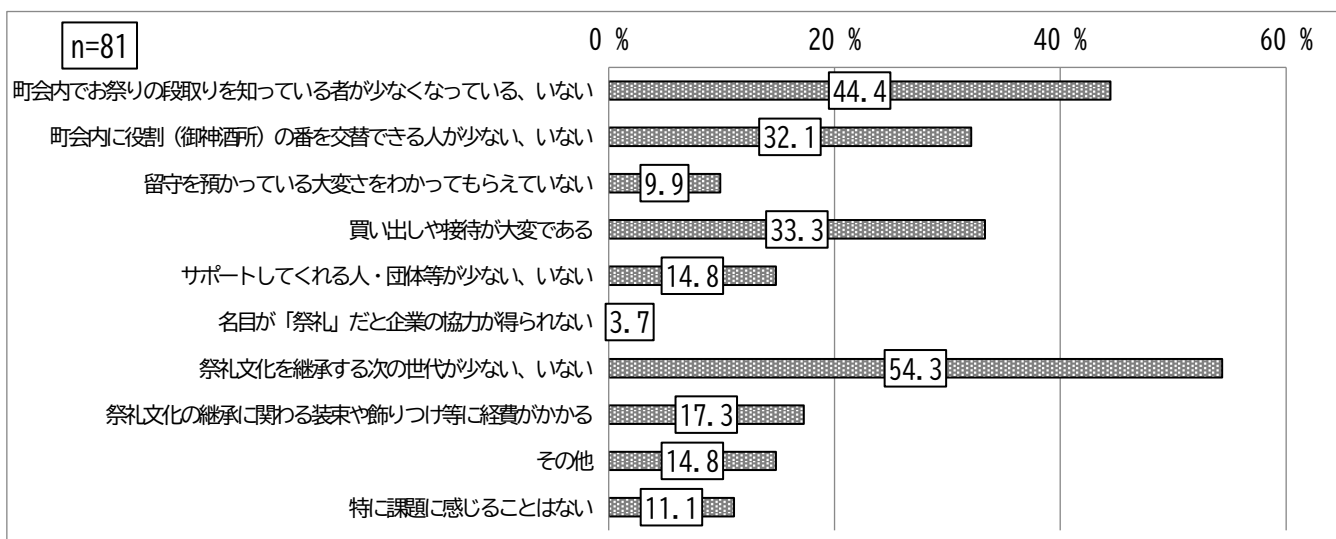
●婦人部・女性部等として、これからの町会についてどのようにお考えですか。一番近いものを1つ選んでください。(○は1つ)



17 祭礼文化継承の課題について（問 23）

「祭礼文化を継承する次の世代が少ない、いない」(54.3%) が5割台半ば近くと最も高く、次いで「町会内でお祭りの段取りを知っている者が少なくなっている、いない」(44.4%)、「買い出しや接待が大変である」(33.3%)、「町会内に役割（御神酒所）の番を交替できる人が少ない、いない」(32.1%) と続いている。

●祭礼文化を継承していくにあたり、課題となっていることは何ですか。特に課題に感じるものを3つまでお選びください。(○は3つまで)



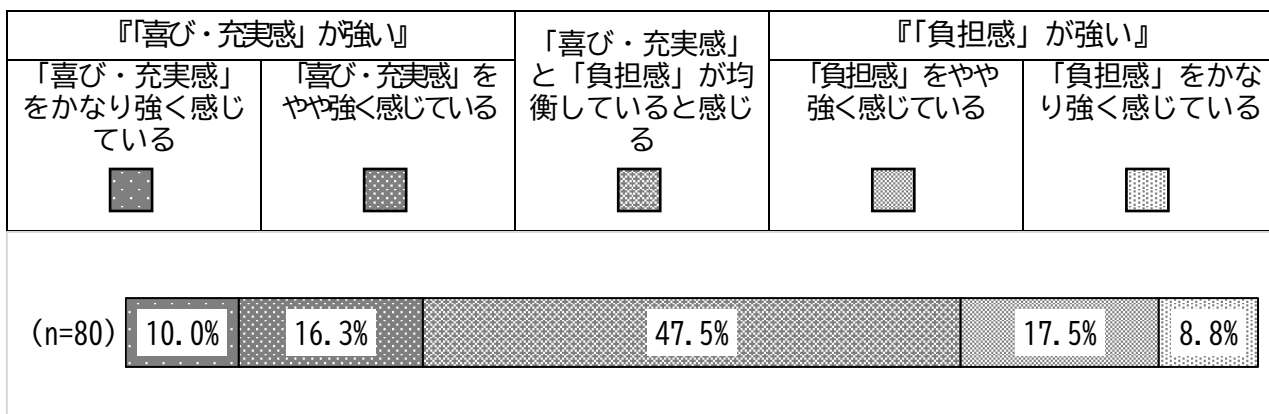
18 祭礼参加の充実感・負担感について（問 25）

「喜び・充実感」をかなり強く感じている」（10.0%）と「喜び・充実感」をやや強く感じている」（16.3%）を合わせた『「喜び・充実感」が強い』（26.3%）は2割台半ば超えであった。

一方で、「負担感」をやや強く感じている」（17.5%）と「負担感」をかなり強く感じている」（8.8%）を合わせた『「負担感」が強い』（26.3%）も2割台半ば超えであった。

また、「喜び・充実感」と「負担感」が均衡していると感じる」（47.5%）は最も高く、4割台半ば超えとなっている。

- 婦人部長・女性部長等として、祭礼への参加の「喜び・充実感」と「負担感」のバランスをどのように感じていますか。一番近いものを1つ選んでください。（○は1つ）

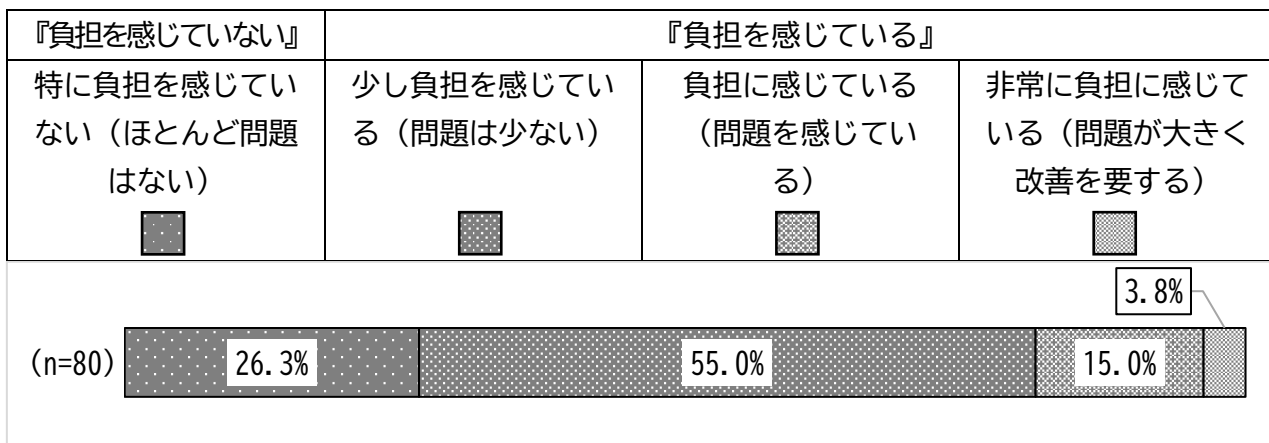


19 行政からの依頼の負担感について（問 27）

「少し負担を感じている（問題は少ない）」と「負担に感じている（問題を感じている）」と「非常に負担に感じている（問題が大きく改善を要する）」を合わせた『負担に感じている』（73.8%）は7割超えであった。

一方で、「特に負担を感じていない（ほとんど問題はない）」（26.3%）となっている。

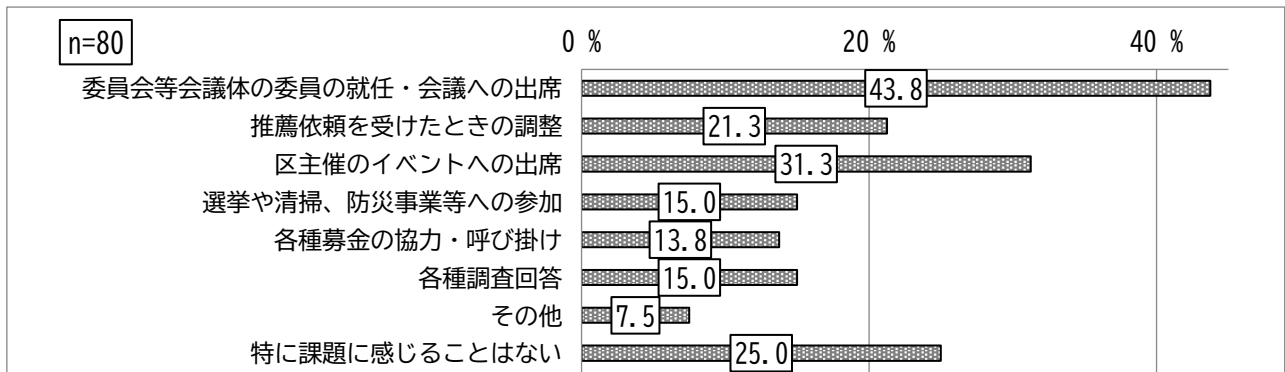
- 婦人部・女性部等には行政（区、国、都、その他警察や消防など）からさまざまな仕事や役割をお願いしています。これらについて、どの程度負担に感じておられますか。（○は1つ）



20 行政からの依頼で負担感の大きいものについて（問 28）

「委員会等会議体の委員の就任・会議への出席」（43.8%）が4割超えと最も高く、次いで「区主催のイベントへの出席」（31.3%）、「特に課題に感じることはない」（25.0%）と続いている。

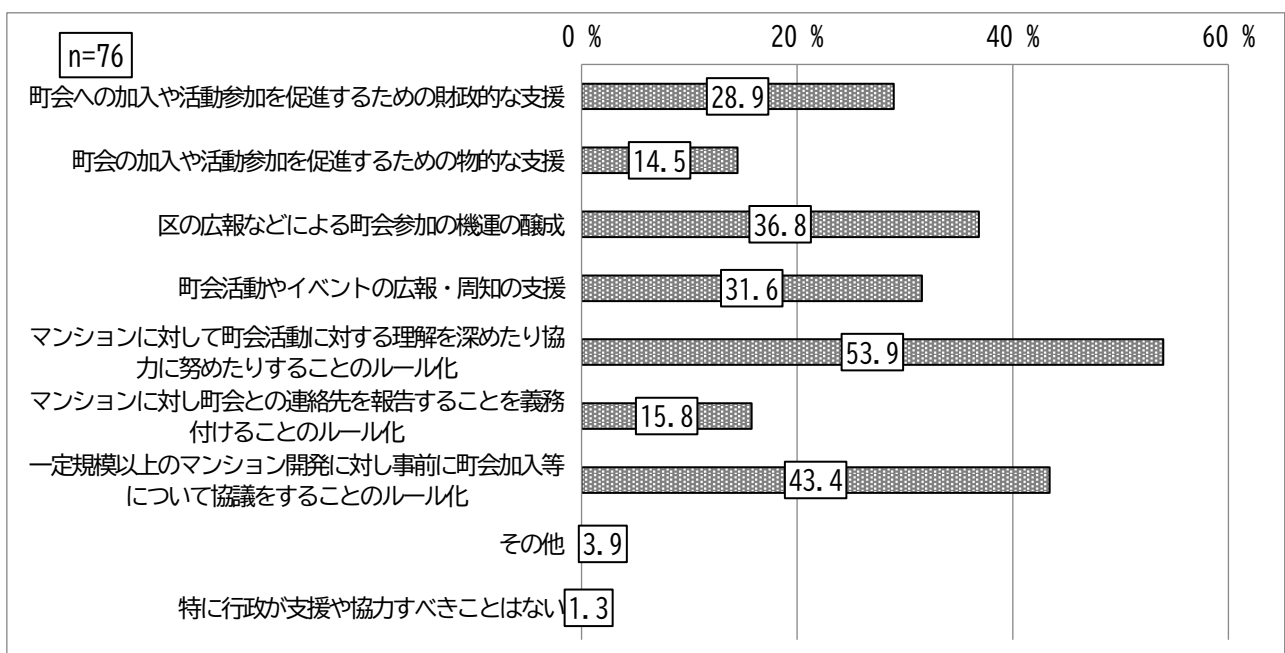
- 行政から依頼される仕事・役割のうち、特に負担が大きく、仕事量の軽減や実施方法を改善すべきだと思うものは何ですか。特に負担が大きいと感じになるものを3つまで記入してください。（○は3つまで）



21 町会加入促進について行政がすべき支援や協力について（問 30）

「マンションに対して町会活動に対する理解を深めたり協力を努めたりすることのルール化」（53.9%）が5割超えと最も高く、「一定規模以上のマンション開発に対し事前に町会加入等について協議をすることのルール化」（43.4%）が、次いで「区の広報などによる町会参加の機運の醸成」（36.8%）となっている。

- 町会加入の促進について行政はどのような支援や協力をすべきだと思いますか。婦人部・女性部等として特に重要だと思うものを3つまで選んでください。（○は3つまで）



22 町会活動や運営に対して行政がすべき支援や協力について（問 29）

「各種事業実施に対する財政的な支援」（42.5%）が4割超えと最も高く、次いで「次世代の担い手の人材育成」（28.8%）、「地域課題に関して区からの情報提供や相談の充実」（25.0%）、「他町会の取組や好事例の紹介」（23.8%）と続いている。

- 町会の活動や運営に対して行政はどのような支援や協力をすべきだと思いますか。婦人部・女性部等として特に重要だと思うものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

